

令和2年3月31日

令和元年度政務活動費収支報告書

(あて先) 宇都宮市議会議長

会派の名称

栃木県民こころの会

代表者の役職名・氏名

会長 平松 明夫

令和元年度政務活動費の収支について、宇都宮市議会政務活動費の交付等に関する条例第8条の規定により、次のとおり報告します。

1 収入

科 目	金 額	摘 要
政 務 活 動 費	1,100,000円	
預 金 利 子	5円	
合 計	1,100,005円	

2 支出

科 目	金 額	摘 要
研 究 研 修 費	0円	
調 査 活 動 費	13,300円	
資 料 作 成 費	0円	
資 料 購 入 費	26,580円	
広 報 広 聴 費	0円	
人 件 費	0円	
事 務 費	0円	
その他の経費	0円	
合 計	39,880円	

2 残 額

1,060,125円

政務活動費収入支出記入簿(令和元年度)

(No.)

月	日	科目名	支出内容	支出先	受入	支払	残高
5	15	政務調査費(受入)			500,000		500,000
6	5	資料購入費	読売新聞(6月~11月)	有限会社レスコ		20,400	479,600
8	17	預金利子(受入)			1		479,601
10	15	政務調査費(受入)			600,000		1,079,601
11	18	調査活動費	旅費1名分			13,300	1,066,301
2	17	預金利子(受入)			4		1,066,305
2	26	資料購入費	朝日新聞(2月分)	有限会社田口新聞店		3,090	1,063,215
3	25	資料購入費	朝日新聞(3月分)	有限会社田口新聞店		3,090	1,060,125

【②:調査活動費】

(11月分: ページ)

整理 番号	月	日	費 目	支出内容	支出先	金 額	備 考
1	11	18	旅費 市川市1 名(11月18日)	旅費1名分		13,300	
	◎		合 計			13,300	

【④:資料購入費】

(6月分: ページ)

整理 番号	月	日	費 目	支出内容	支出先	金 額	備 考
1	6	5	新聞代	読売新聞(6月～11月)	有限会社レスコ	20,400	
	◎		合 計			20,400	

【④:資料購入費】

(2月分: ページ)

整理 番号	月	日	費 目	支出内容	支出先	金 額	備 考
1	2	26	新聞代	朝日新聞(2月分)	有限会社田口新聞店	3,090	
	◎		合 計			3,090	

【④: 資料購入費】

(3月分: ページ)

整理 番号	月	日	費 目	支出内容	支出先	金 額	備 考
1	3	25	新聞代	朝日新聞(3月分)	有限会社田口新聞店	3,090	
	◎		合 計			3,090	

政務活動実績報告書

栃木県民こころの会 会長 平松 明夫 様		令和元年11月19日
		(報告者) 平松 明夫
実施日	令和元年11月18日	
調査地、又は 研修会開催地	千葉県市川市市役所 生活環境保全課	
調査研究項目	市川市における地域猫活動について	
調査研究概要		
<p>市川市市役所 生活環境保全課長対応</p> <p>1 市川市が地域猫活動を推進した経緯について</p> <p>NPO 法人からの要望を受け、平成19年度から市川市保健センターで事業を開始 平成20年度に市川市 保健医療課へ事務移管 平成20年度に助成対象を「個人」から「地域猫活動団体」へ変更 平成26年度に事業が市川市保健医療課市川市環境保全課へ業務移管 平成28年度に地域猫活動団体の登録制度を導入</p> <p>「地域猫活動でまちの野良猫問題の解決を目指します」これは平成28年9月17日発行の市川市の広報誌の特集記事の見出しです このような取り組みを官民連携して行う事は素晴らしい事と思います。</p> <p>2 不妊 去勢手術費用の助成金について</p> <p>市川市では 平成30年度まで地域猫不妊等手術費助成制度 平成31年度より、地元獣医師会との委託契約を結び、指定病院での団体費用負担無しの制度を導入</p>		

市川市市議会に 民間の団体から請願書が提出され、それが採択された結果「飼い主がいない猫不妊等手術費助成金交付事業」と名称が変わり、予算も順次増額される経緯があるとのこと
です。

現在は「地域猫不妊等手術費助成金交付事業」団体登録制度になっているとのことでした。

総括

地域猫活動とは、地域に住み着いてしまった野良猫（飼い主がいない猫）に不妊去勢手術を行い、将来的には飼い主のいない猫をふやさないようにし、その猫が命を全うするまで 一代限りでその地域において適切に管理していく活動です。

しかし地域住民が主体となり時間を決めた餌やりや残った餌の後片づけ、トイレの設置や後片づけなどについてルールを決めて行うなど、地域の協力、理解が必要となります。

野良猫（飼い主のいない猫）が増えると近隣住民の迷惑になり人間関係を悪化させる事もあり人間と猫の双方にとって住みにくい環境になってしまうので、宇都宮市でも野良猫（飼い主のいない猫）問題に取り組んでいく必要があると考えます

最後に 宇都宮市と同規模の市川市の取り組み方を視察して 地域猫活動の現状を知り「人間と動物が共に生きる社会」を目指したいと思えます。

※この報告書は、調査研究事項にかかる関係資料と併せて会派で5年間保存してください。
また、年度終了後は、この報告書の写しのみを議長に提出してください。